

ジェンダーミニ新聞

第2号
発行 苫小牧市
協働・男女平等参
画室

多様な性への理解深める

知らないうちに誰かを傷つけないために

LGBTって なんだろう？

あなたの大切な人が、友達、我が子が「同性が好き」、「男の子から女の子になりたい」と言ったらどうするか、多様な性の基礎知識について、講座を実施した。

性はグラデーション

心のカタチ、好きのカタチ、性の在り方はみんな違って、当たり前はない。そのことで、差別や偏見に苦しんでいる人も。多様な

性への理解を深め、言葉を少し工夫することで、誰かを傷つけない、誰もが生きやすい社会に変わると講師は話した。

第二部では、ジェンダーメンバーで、講義を受けた感想などを対話。一人ひとり何ができるか宣言カードに記入し、発表した。

▼ALLY アライ
性的マイノリティの困難を自分ごととして一緒に考え行動する人。

苫小牧市 パートナーシップ制度

令和5年1月の導入を目指している。苫小牧市パートナーシップ制度。宣誓した性的少数者のカップルに、現在、道内4市が導入している。

し、一部の行政サービスにおいて、法律婚と同様のサービスを受けられるようになる。現在、道内4市が導入している。



ALLYになり、ALLYを増やすため、社内で普及啓発します



先入観を捨て、一人ひとりと向き合うようにします



本日の資料を支店の中で共有します



知ります。伝えます



差別や偏見をこえてALLYとして応援します



自分の発言、周りの人の発言が人を傷つけないよう意識して行動します

力強く、それぞれの行動を宣言



らしさが人それぞれ違うことを踏まえ、人のあり方を認めます



人を傷つけない呼び方を意識し、考え直し、勉強していきたいと思えます



性的マイノリティの方を意識した言葉選びをします



企業内ALLYサポート体制を創出します



研究します



知ろうとする、考え続ける、今日の前にいる人を思いやります



性差を含め、その個人を大切にします



もつと人の個性を認め合う時代に私たちから意識変革をします



▲ALLY職員の講義内容に、真剣に耳を傾ける様子。



女ふたりで暮らしてみれば
日時：11月13日(日) 13:30~15:30
場所：苫小牧市民活動センター
申込・詳細：苫小牧市男女平等参画推進センター TEL0144-32-3544

初イオン開催

これまででは公共施設で開催していたジェンダーミニ。気軽に市民が参加できる場所で開催したいと考え、今回はイオン苫小牧様の協力をいただき、買い物客が多く訪れるイオンモールセンターコート会場に開催が実現した。当日は、子連れの方など、様々な参加者が熱心に耳を傾けていた。



▲イオン苫小牧の三上店長と市長。

編集後記

近年、LGBTという言葉を耳にする機会が増えた。それに伴い、性の多様性について様々な意見があることに気づかされる。性の在り方に当たり前は無いことと同じように、性に対する意見にも当たり前は無いのかもしれない。ただ、どのような意見を持つていても、その意見で人を傷つけてはいけないことは当たり前、との認識を強くした。「山」事業であった。